



プロジェクト名称 【参加人数: 13名】

旧山古志村の未来を考えるプロジェクト

活動概要・目的 【活動期間: 2012年6月1日～2013年5月30日】

新潟中越地震からの復興を遂げた旧山古志村において、地域活動コーディネーターとして自立支援を行う。本年度は主に、アルパカ牧場を全国に広め、「山古志村のアルパカ」を確率する。多くの人に山古志村の良さ、地域資源、復興を遂げた現在の姿を知ってもらう。

年間活動実績

日程	活動概要	活動場所	活動内容
5/31	mtg	6F PC 室前	これからの活動目標・ws・芝浦祭について
6/3	mtg	8F 製図室	豊洲 ws フライヤー作成
6/4	mtg	8F 製図室	メンバー募集ポスター作成
7/5	mtg	8F 製図室	日程調整
7/10	mtg	8F 製図室	芝浦祭について
7/13	試食会	研究室	ws 料理試食会
7/14	ws 準備①	8F 製図室	材料調達・下準備①
7/20	ws 準備②	8F 製図室	下準備②
7/21	豊洲 ws	1F 中庭	豊洲に住む子どもたちと椅子作り
7/23	mtg	8F 製図室	反省会・お礼状作り・2-3日の作業決め
8/2-3	椅子づくり ws	山古志村	アルパカ牧場の椅子作り
8/12	mtg	8F 製図室	芝浦祭 立て看板作り



年間活動実績

日程	活動概要	活動場所	活動内容
8/22	mtg	8F 製図室	24-25 日 ws について
8/24-25	山古志 ws	山古志村	山古志村の子どもとぬいぐるみ作り
9/26	mtg	8F 製図室	芝浦祭に向けたメニューの改良
10/11	mtg	8F 製図室	日程調整
10/15	mtg	8F 製図室	芝浦祭シフト決め
11/2	芝浦祭①	中庭	芝浦祭①
11/3	芝浦祭②	中庭	芝浦祭②
11/4	芝浦祭③	中庭	芝浦祭③
11/5	mtg	8F 製図室	片付け・反省会・今後の活動日程
12/16	mtg	8F 製図室	年内まとめ
2/18	mtg	8F 製図室	次年度の計画
3/5	mtg	8F 製図室	次年度の計画・卒業生最終日



## プロジェクトの成果・結果・達成度・関係者からの評価

やまこしアルパカ牧場からの要望で、休憩スペースに設置するベンチを作った。“東京と山古志を繋げよう”というコンセプトをもとに、7月に豊洲に住む幼稚園から小学校のこどもたちを対象にワークショップを行った。事前に用意した木の板に思い思いのアルパカの絵を描いてもらい、それを東京の子供たちからのメッセージとして山古志に運び、今は地域の方達にたくさん利用されるベンチになっている。8月には去年も行った山古志ワークショップを今年も開催。これに加え、芝浦祭に出品する山古志汁の試作も行った。豊洲のワークショップを参考に、当日参加者を多く募ったことで、この活動を知らない人に参加して頂くことができた。去年の反省点を元に、今年はサイズの小さいアルパカ人形とし、バッジやマグネット、ストラップなどのバリエーションを加えることも可能で、大変好評だった。また今年度から東京にも山古志のことを広めるために、芝浦祭に出店。山古志村の郷土料理である神楽南蛮みそをふんだんに使った肉団子の入った「山古志汁」を販売した。村の現状、復興の様子や活動の記録をパネル化、山古志アルパカ牧場のチラシを店頭置くなど、山古志汁を販売するだけでなく山古志についてたくさんの人に知ってもらえるよう努力した。また、山古志汁を買ってくださった人たちの写真を撮らせていただき、その笑顔を山古志の人たちに伝える活動も行った。

## 受賞・メディア取材(新聞、広報誌、TV等)

なし

## プロジェクト活動を振り返って(チームとして成長したこと、感動や印象に残っていること、反省、今後の展望について)

今年は主に東京での活動を中心に行った。今までは山古志村現地での活動を行い、村にたくさんの提案をしてきたが、村の生活が少し安定してきた今、今度は東京の人たちに山古志村のことを知ってもらい、より多くの人を村に呼び込むことを目標にした。ものづくりを学ぶ学生として、身近な椅子というものを取り上げ、東京の子どもたちとワークショップを行った。ものづくりの楽しさを伝えると同時に、山古志村について少しでも知ってもらえるようなイベントはとても評判がよく、後日実際に山古志村に足をのばしていただいたという報告もいただいた。

また、初めての芝浦祭での出店は、今までたくさんのイベントや交流をしてきた経験もあり、チーム一丸となって3日間協力し合うことができた。山古志村のお母さんたちの味を東京の人たちにも食べてもらいたい、山古志村のことをもっとたくさんの人に知ってもらいたいという全員の気持ちがとても感じられ、たくさんの方から高評価をいただくことができた。

前年度の講評会で指摘を受け、新たに設置をしたアンケートには、少しずつではあるが牧場の来場者からの評価が入っている。一例を挙げると、トンネル手前の看板が色あせていて見えにくい。牧場近くに来てやっと看板があったので、もっと数を増やして下さい。何度も道を聞いた。もっと手前より、表示した方がいい。アルパカがいるの?!とびっくりしてきました。椅子づくり楽しかったです。直に触れることができるともううれしいです。アルパカ大好き! など。(数量での統計もあり) 今後もアンケートを定期的にチェックし、今後の活動のヒントにしていきたい。

チームとして一番印象に残っていることは、山古志村のアルパカ牧場の紹介パンフレットを作成し、長岡市内の市役所や店舗に掛け合って配置してもらうまでを自分たちの力でやり遂げたことである。山古志村の人たちにも評価してもらい、このパンフレットを見て牧場に足を運んでくださった人もいるといふ成果は、チームの自信にもつながっている。

今後の活動はまだ検討中だが、これまで関わってきたたくさんの人たちと協力し、東京と山古志村をつなぐツアー体験のようなものを目標にしてみたいという声が挙っている。また、同じ大地震の被災経験地域として、福島復興に何かしらの協力ができないかという提案もある。今年度の活動の成果や反省点をふまえて現在チームで話し合いが進められている。



プロジェクト活動写真



豊洲 WS 風景

看板作成



山古志アルパカ牧場 パネル・椅子設置

芝浦祭 山古志汁を食べてくれた方達

